東京女医大医教第 26203 号
2026 年 9 月 25 日

関係機関の長 各位

東京女子医科大学
学長　三谷　昌平
（公 印 省 略）

産婦人科学講座　教授候補者の公募について

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、婦人科学分野　田畑 務 教授が 2027 年 3 月 31 日をもって定年退職となることから、教授を選考することになりました。つきましては、産婦人科学講座（産科学分野、婦人科学分野を含む）の教授を広く公募いたします。本選考においてはご専門の分野における教授・基幹分野長としての役割に加え、産婦人科学講座の主任教授として講座全体を統括していただける方を募集いたします。本学の診療体制を踏まえ、産婦人科学全般における高度な臨床能力とリーダーシップを有し、講座全体を牽引していただける方を望んでおります。貴施設ならびに関連機関に候補者として適任者がおられましたら、ご周知賜わりますようお願い申し上げます。また本学では、女性医師の活動の場の拡充を目指しており、教授職においても女性医師に広く門戸を開いていることも申し添えます。

謹白

記

1. 公募の概要および選考方針

「社会に貢献する女性医人を育成する」という本学の建学の精神に則り、本学産婦人科に必要な専門的知識と経験を持ち、多職種に対してもリーダーシップを発揮して陣頭指揮をとりチーム医療を実践できる方を公募いたします。

なお、本学では、男女共同参画を推進しています。上記の建学の精神に則り、業績および人物の評価において同等と認められた場合は女性を積極的に登用する方針です。

つきましては、次の資格要件を満たす方を公募いたします。

(1) 医師免許および博士（医学）の学位を有すること
(2) 教育歴（5 年以上）、研究歴（10 年以上）、診療歴（10 年以上）の要件を満たすこと
(3) 日本産科婦人科学会専門医および指導医の資格を有する方で産婦人科の全領域に関して深い造詣を備え、卓越した能力を有すること。さらに産婦人科の関連領域（日本癌学会、日本癌治療学会、日本婦人科腫瘍学会、日本周産期・新生児医学会、日

本生殖内分泌医学会、日本女性医学学会等）の専門医等、かつ産婦人科の学際領域（日本超音波医学会、日本人類遺伝学会、日本内分泌学会、日本臨床細胞学会等）の専門医等の資格を有していることが望ましい。

(4) 本学の理念である「至誠と愛」を理解し、女性医師の育成や女性の働きやすい職場環境の構築に積極的であること

(5) 人格的に優れ、高い組織マネジメント能力を有し、チーム医療と医療安全を実践できること

(6) 病院収益に貢献する意識と実績があること

(7) 研究業績として、査読付自著論文(*)15 編以上(以下の A または B を計 4 編以上含むこと、ただし A を 1 編以上含むこと)または自著論文のインパクトファクターの合計が 15 以上の要件を満たすこと

A:英文研究論文(自著原著)とする。また英文で発行され国際的評価を受けている雑誌で、インパクトファクター1 以上を一応の目安とする。

B:英文研究論文(自著原著)で、国内誌、海外誌とも、学会誌もしくはそれに準ずるもの。それ以外は学術雑誌でも該当する専門家を含む相当数の読者がおり、アクセスが自由にできるもの。また、英文による総説や解説、症例報告もこれに含める。ただし、編集長への手紙(Letters to the Editor)、ブログ、デジタルオブジェクト識別子(DOI)の付与されない電子ジャーナル等は含めない。

(*)自著論文とは、本人が first author または equal contributor になっている論文、または corresponding author として明記されている論文を指す。

2. 勤務条件

・基本勤務時間：平日　9：00～17：00（休憩 1 時間）
　　土曜　9：00～13：00
　　なお、臨床系では週所定労働時間を 39 時間として、1 ヵ月単位の変形労働時間制を実施
・休日：祝日、創立記念日（12 月 5 日）、夏季休暇、年末年始（12/30～1/4）、年次有給休暇（採用日から３ヶ月後に採用月に応じて付与）
・給与：本学規程による
・通勤手当：4 月、10 月に 6 ヶ月定期代を支給（1 ヵ月分上限 55,000 円迄）
・賞与：6 月、12 月の年 2 回支給（昨年度実績：4.7 カ月分）
・各種保険：健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険等、財形貯蓄制度あり

3. 提出書類

様式1～7については、本学ホームページ(HOME ＞ 新着採用情報)からダウンロードしてください。

http://www.twmu.ac.jp/univ/

(1) 履歴書(様式 1)　1 部
(補足資料も合わせてお送りください)
(2) 業績目録(様式 2-1、2-2)　1 部
(3) 主要自著原著論文 10 編の別刷　各 1 部※PDF ファイル
(4) 主要自著原著論文 10 編の説明(様式 3)　1 部
(5) 研究資金等の取得状況(様式 4)　1 部
(6) 診療実績(様式 5-1、5-2)　1 部
(7) 医療安全に係る実務経験(様式 6-1)　1 部
(8) セーフティマネジャー研修報告書(様式 6-2)　1 部
(9)自己評価書　1 部
(10)推薦者一覧　1 部
(11)推薦書(様式 7)(厳封)　推薦者 3 名まで
(12) チェックリスト　1 部
(13)上記(1)～(10)・(12)の電子ファイルを保存した媒体(USB 等のメディア)　1 式
※上記(3)は PDF ファイルで保存してください。他のファイルは PDF 変換せず
Word、Excel のまま提出してください。

4. 提出方法
(1) 上記の提出書類等を一括して送付してください。
(2) 提出書類は、必要に応じてクリップ留めとし、針の有無に係わらずステープラー(ホッチキス)等は使用しないでください。
(3) 封書等の表に「**産婦人科学講座　教授応募書類**」と朱書きしてください。
(4) 提出に際しては、書留等で確実に受理が確認できる方法でお送りください。直接持ち込みはお受けできませんので、ご注意ください。
レターパックで提出する際は、レターパックプラス(赤の対面受取)でお送りください。

5. 提出期限：**2026年11月30日(月)　正午　必着**

6. 提出先
〒162-8666 東京都新宿区河田町8番1号
東京女子医科大学
学長　三谷　昌平　宛

7. 選考方法
(1)一次選考　：書類審査
(2)二次選考　：面接審査
(3)三次選考　：公開講演審査(第 3 金曜・午後)
(4)最終選考　：理事会審査(第 4 水曜・午後)

8. 問い合わせ先

教授選考委員会事務局
学務課　佐藤・高澤・河野
med_senkou.bz@twmu.ac.jp

9. 備考

(1)提出書類等一式は返却いたしません。選考に関わる者以外に応募情報が漏洩しないよう厳重に管理の上、最終選考が終了しましたら速やかに当方にて責任を持って処分いたします。なお、選考過程において選考に関わる者として、本学教授会構成員および理事会構成員等が含まれることをご了承願います。

(2)候補者の方には選考過程において、面接、公開講演等で数回ご来学いただく場合があります。このために必要な旅費・滞在費等は応募者の負担といたします。また、追加資料の提出を求めることや、状況確認等で所属施設に伺う場合があります。

(3)選考結果は、最終選考が終了次第、応募者ご本人のみに通知するものとし、推薦者の方には通知いたしませんことをご承知おきください。

(4)本学では、2019年度から任期制を導入しており、採用初年度は原則として1年間の有期雇用となり、勤務実績等を考慮した上で更新されます。予めご承知おきください。

以上

教授候補者の提出資料について
(産婦人科学講座)

以下をご確認のうえ、必要書類をご提出願います。
※(10)の推薦状以外は補足資料等含め、すべてデータ(Word、Excel、PDF等)にしていただき、印刷や原本と併せてデータ媒体(USB等)をご提出いただきます様よろしくお願いいたします。
各提出物のデータ形式につきまして詳しくは提出物(12)チェックリストをご参照ください。

1. 記入要領

(1) 履歴書 (様式1) (写真貼付)

(様式1)に従い、学歴、職歴、教育歴、研究歴、診療歴、学会活動、社会活動、賞罰に分けて記載してください。特に、ハラスメント・性暴力等を原因とする懲戒処分歴やその具体的な事由についても賞罰欄に明記してください。相互に重複することは差し支えありませんが、項目で記載する内容がない場合は「なし」と明記してください。

また補足資料として、以下の資料も提出してください。

①履歴書に記載した医師免許および博士(医学)の学位記の写しとそのPDF

②日本産科婦人科学会専門医および指導医資格の写しとそのPDF
また、関連領域学会の専門医等の資格を有する場合はその写しとそのPDFも追加資料としてご提出ください。

③卒前、卒後、大学院教育について、年間の講義内容・実習の時間数を記載した担当表やシラバスのコピー(過去3年分)とそのPDF

(2) 業績目録 (様式2-1、2-2)

(様式2-1)(様式2-2)に従い、Excelファイル内の2つのシートに記載してください。役割欄には、正確にご自身の役割を記載してください。IFは指定の年度がありますのでご注意ください。

(3) 主要自著論文10編の別刷

主要な自著論文10編について、その別刷を各1部添付するとともに、PDFファイルを媒体に保存の上ご提出ください。(添付していただく別冊およびPDFファイルには「主要自著論文10編の説明」(様式3)に付した番号と同じ番号をつけてください。)

(4) 主要自著論文10編の説明 (様式3)

(様式3)に従い、各々の論文の独創的な点について200字以内でご説明ください。

(5) 研究資金等の取得状況 (様式4)

(様式4)に従い、**直近10年間**に取得した研究資金を記載してください。

(6) 診療実績（様式5-1、5-2）

(様式5-1、5-2)に従い、外来・入院実績、手術実績を記載してください。
また、以下の補足資料をご提出ください。なお、個人情報保護の観点から、患者氏名は必ず消してください。

① 【手術記録】

2023年4月～2026年3月に、ご本人が執刀したすべての手術症例の手術記録の写し

②【代表的な手術記録　10件】

①のうち、ご本人が執刀した代表的な手術症例10件(※1)について、その選択理由および手術概要を記載した説明書(※2)、ならびに手術記録の写し
(※1)うち最低1件は申請時より1年以内の手術症例を含めてください。
(※2)各手術A4版1枚程度。書式自由。

③【代表的な手術動画】

上記手術症例10件のうち、ご本人が執刀した手術症例の未編集の手術動画２本をコピープロテクトを付けずにMP4形式でDVD(複数枚可)またはUSBに保存の上、ご提出ください。(Blu-ray Discは不可)

※未編集動画にした手術症例について②の書面一式を別途ご用意の上、ご提出ください。

(7) 医療安全管理に係る実務経験（様式6-1）

様式6-1または、医療安全管理に係る実務経験がわかるものをご提出ください。
実務経験がない場合は「なし」と明記してください。

(8) セーフティマネージャー研修報告書（様式6-2）

本学でセーフティマネージャー研修を受けた場合には、医療安全推進部門の部門長の署名・捺印済みの研修報告書の写しをご提出ください。ない場合は「なし」と明記して提出してください。また、本学以外の施設で研修を受けている場合は研修を受講していることがわかるものをご提出ください。

(9) 自己評価書

教育、研究、診療、将来への抱負等、下記①～⑩の各々について自己評価を具体的に記載してください(A4版、書式自由、各1枚以内)。

①教育：講義、実習、少人数教育(テュートリアル等)の経験、教育に対する考えについて記載してください。
②研究：主な研究分野とその業績、若手研究者の育成経験、研究に対する考えについて記載してください。
③診療：実績、専門領域、特殊技能について具体的に記載してください。
④医療安全：大学病院の医療安全管理に関する考え方など、現行と将来像も含めて具体的に記載して下さい。

⑤組織マネジメント：主導的立場で経験した実例を記載してください。例えば、診療科の運営、所属学会の委員会の委員長、社会活動における主導的立場、医療安全に関する内部活動および外部評価委員などの実績など、種類を問いません。
⑥学会：所属している学会、学会における委員会での活動や役員など。
⑦社会貢献：社会活動における主導的立場など。
⑧女性医療者の教育・育成：これまでの実績や、本学の建学の精神や理念を踏まえ、女性医療者の教育・育成についての考えを記載してください。
⑨経営への意識：現在所属する組織の経営への貢献実績、本学の収支、経営にどのように貢献するか等をお書き下さい。特に本学の周産期医療をどのように牽引し収支改善に貢献できるかについてもご記載下さい。
⑩将来への抱負：ご自由にお書きください。

(10) 推薦者一覧
推薦者の氏名・所属・役職を明記した一覧表を作成してください。
(A4版、書式自由)

(11) 推薦書(様式7)
最初に応募者との関係と交流期間を明示の上、応募者の教育、研究に関する能力、組織マネジメント力および人物について客観的な評価を指定の書式1枚以内で記載していただいてください。推薦者は3名までとし、その依頼先は国内外を問いませんが、提出期限に留意して依頼してください。推薦書は推薦者が封書に入れて厳封した状態で、応募者の資料と一緒にお送りください。

(12) チェックリスト

2. 選考方法
(1) 一次選考：書類審査
(2) 二次選考：面接審査
(3) 三次選考：公開講演審査(第 3 金曜・午後)
(4) 最終選考：理事会審査(第 4 水曜・午後)

3. 備考
(1) 提出書類は、必要に応じてクリップ留めとし、針の有無に係わらずステープラー(ホッチキス)等は使用しないでください。
(2) 提出書類等一式は返却いたしませんが、選考に関わる者以外に応募情報の漏洩なきよう厳重に管理の上、選考終了後、当方にて責任を持って処分いたします。ただし、選考過程において選考に関わる者として、本学教授会構成員および理事会構成員等が含まれますことをご了承願います。
(3) 選考過程において、追加資料等の提出を求めることや、状況確認のためにご所属の施設に伺う場合があります。

(4) 候補者の方には選考過程において、面接、公開講演等で数回ご来学いただくこととなる場合があります。その際に必要な旅費・滞在費等については応募者の負担といたします。また、日程および実施方法はご本人に連絡いたします。
(5) 選考結果は、最終選考が終了次第、応募者ご本人に通知し、推薦者の方には通知いたしません。また選考の経過については、ご回答いたしかねますのでご承知おきください。
(6) 本学では、2019年度から任期制を導入しており、採用初年度は原則として1年間の有期雇用となり、勤務実績等を考慮した上で更新されます。予めご承知おきください。

4. 提出期限：2026年11月30日(月)　正午 必着

5. 提出書類の送付先

〒162-8666　東京都新宿区河田町8番1号
東京女子医科大学
学長　三谷　昌平

※提出書類は「書留」等の記録の残る方法で郵送してください。
※直接の持ち込みはお受けできません。
※郵便は「親展」とし、
「**産婦人科学講座　教授応募書類在中**」と朱書きしてください。
※レターパックで提出する際は、レターパックプラス(赤の対面受取)で郵送してください。

6. 問い合わせ先

教授選考委員会事務局
学務課　佐藤・高澤・河野
med_senkou.bz@twmu.ac.jp

以　上